

(様式第4号)

第2回真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成22年5月19日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	上原和彦委員、大久保幸子委員、大久保治男委員、北沢孝子委員、北島一博委員 桑田まなみ委員、小林豊明委員、坂口久美子委員、佐藤和雄委員、清水茂委員 下条幹男委員、関貞徳委員、関奈津子委員、田中榮江委員、田中新平委員 堀内秀徳委員、柳橋邦人委員、若林ゆき子委員 【欠席委員】2名
5	市側出席者	笠原センター長、センター全課長、滝沢地域政策係長、宮島主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年6月1日

協 議 事 項 等

- 開 会 (関副会長)
 - 会長あいさつ (佐藤会長)
 - センター長あいさつ (笠原センター長)
- 前回欠席委員の自己紹介
センター課長の自己紹介 (5月1日付けの人事異動による)
- 協議事項
 - 平成22年度真田地域自治センターの課別目標について
【説明要旨】
平成22年度真田地域自治センターの課題・目標一覧表 [資料 - 1]
～センターの各課から説明～
地域振興課、市民生活課、健康福祉課、産業観光課、建設課、真田消防課
上下水道課、真田地域教育事務所
【主な質疑・応答】
(委員) 昨年は菅平自然館老朽化に伴う建替えの記述があったかと記憶している。真田地域協議会でもその話が出ている。
(産業観光課長) 現在この課題について進めている。昨年の菅平高原振興ビジョン策定により、ある程度の方向性が出されたことで記述をなくしている。
(委員) 方向性が見え始めているので、産業観光課で目標に上げてもらわないといけない。
(センター長) 菅平高原振興ビジョンは、菅平の皆さんのご努力により3月に策定された。前協議会委員の皆さんにも配布している。
今後は菅平地域の全ての団体が参加した協議会を設立してご検討していただき、すぐ実施すべきもの、中期・長期で実施していくものを整理しないと重点目標に上げることができない。ご意見のあった施設については、実際に何億必要になるのかなど、内容的にも明確になっていない状況で平成22年度の重点目標にいれても、市の内部では調整できない。重点目標は大まかな目標であり、すぐ実施するものについては、実施計画に含めていきたいと考えている。

(2) 平成 22 年度真田地域に係る予算概要について

【説明要旨】

平成 22年度上田市当初予算 真田地域に係る予算概要 [資料 - 2]

～市全体の予算説明及び真田地域の主な事業・予算についてセンター長、各課長から説明～

【主な質疑・応答】

(委員) 特になし

(3) 今後の地域協議会の進め方について

平成 21年度分科会別協議結果について ～参考として事務局から説明～

【主な意見等】

(委員) 分科会方式は多くの意見が出る。ただ、前回テーマのままでは意見の広がりが無い。今任期の委員から出されたテーマとしたほうがよい。

(委員) 真田地域を魅力アップするため、各委員が意見を出しやすいようにできるだけ多くの情報を委員に流してほしい。

(委員) 分科会方式に賛成。せっかく議論するのだから、机上の空論に終わらないよう、センター課長の意見も聞きながら事業として具体化していくべき。

(委員) 前委員が進めていた良いものに、新しい委員の意見を入れていったらよい。

(委員) 昨年の第 2分科会の議論がすでに現実化している。分科会でしっかり議論を重ねるべき。

(委員) 産業(農業と観光)をしっかり議論するべき。「ふるさと寄付金」というものがあるが、もっと寄付金を活用するメニューを増やせないのか。

(委員) 具体的なテーマならば発言できると感じる。前回欠席しているのだから、自分はどのような立場から意見するのか、また地域協議会の位置づけをよく理解しないと発言できない。

(委員) 分科会で多くのテーマを抱えると議論が中途半端になってしまうので、つっこんだ議論のできる具体的なテーマが良い。行政にやってもらったことを議論すればいいのか、それとももっと基本的な部分(協議会で何を話し合うべきなのか等)を議論するべきなのでは。

(委員) 分科会の委員に共通するテーマにしないと、温度差があって議論になりにくい。

(委員) 子育てや医療のことを話し合いたい。

(委員) 一から話を進めようとするのが難しい。正副会長や事務局からたたき台を示してほしい。

(委員) 今までの協議の中で方向付けされていないものも見受けるので、さらに今まで議論を深めるべき。

(委員) 各団体から推薦されて委員になっているわけだから、新たな課題を出し合ってもよい。

(会長) 分科会方式で協議することには皆さん賛成にようだ。よろしいでしょうか。

(全委員) 賛成

(会長) 分科会については、大半の委員が変わりテーマ設定等が難しいと思うが、皆さんいかがでしょうか。

(委員) 昨年の分科会をやってみて、同じように 3つの分科会に分けるのが基本と思う。

昨年テーマから、第 1分科会「地域づくり」については、多くの委員が入れ替わっている中で、はじめからの議論になったとしても外せないテーマと考える。第 2分科会「観光と農業」については、議論内容が協議会の意見書となったので別のテーマとし、健康や高齢者福祉のようなテーマとしたらどうか。昨年の第 3分科会では「安心して暮らせる地域づくり」、「交通ネットワーク」等のテーマの中で、多くの協議項を設定したため、まとめて大変苦労したようだ。例えば、路線バスの課題が真田地域にあると

聞いているので、交通問題に絞ったテーマとしたらどうか。私の私論なので議論のたたき台にしてください。

(会長) 大きなくくりとして 地域づくり関係 健康・福祉関係 交通問題としたらどうか。

(委員) 教育問題、医療問題に関心を持っている。どこに該当するのか分かりにくい。

(センター長) できれば3つ基本のテーマは変えず、その他に何があるのかを検討してほしい。

(委員) 月1回という限られた時間の中での協議。会長と事務局で素案を各委員に示し、次の協議会には所属する分科会を決定したほうがよい。

(委員) 委員全員の思いで分科会を決めれば、いつまでも決まらない。

(会長) 会長・副会長と事務局との協議で素案を作成して各委員に示し、次回までに分科会構成を済ませるという進め方でよろしいでしょうか。

(全委員) 了承

(4) わがまち魅力アップ応援事業実施状況について(報告)

平成 21年度真田地域わがまち魅力アップ応援事業一覧表 [資料 - 4] ~事務局から説明~

5 その他

次回の開催日は、6月23日(水) 午後4時から

6 閉 会(副会長)